

佐賀空港

【実施主体：個社】

佐賀空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 賃上げを含む処遇改善に不可欠な受託料の引き上げ	航空会社への受託料引き上げ交渉	約10パーセントの値上げ	
	外航受託料の引き上げ	本社にて、外航受託料の引き上げ交渉を実施。	
	自社グループ空港運営会社への委託料の引き上げ	本社にて、自社グループ空港運営会社の処遇改善の原資として委託料の引き上げを実施。	
	総代理店への委託料の見直し	本社にて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料の見直し検討に着手。	
	検査会社への委託料の見直し	R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料金の見直しについて検討中。	
【短期】 人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化（キャンセル料の設定等）	外航受託契約条件の見直し	本社にて、最低保証条項の導入検討に着手。	
	検査会社への委託契約条件の設定	検査会社への委託契約に時間保証を継続して設定。	
	職場環境改善	国際線保安検査場に扇風機4台を設置。	
	職場環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 風除室エアコンのクリーニング ・ 男性更衣室の換気扇取替・空調室内機洗浄 ・ 事務室裏の換気扇取替 	
	職場環境課題の定期的なヒアリング	本社にて、全国空港所長による定例会議等を通じ毎月職場環境課題の集約を実施。対応を検討中。	
	処遇の改善	R5年度ベースアップ、初任給アップ、公休数増を実施。	
【短期】 職員負担の集中を回避するための正確な現状把握	生産量ならびに生産対応状況の把握	生産対応状況を毎月把握。	
	生産量ならびに生産対応状況の把握	本社にて、自社グループ空港運営会社の生産対応状況を毎月把握。	
	生産量ならびに生産対応状況の把握	本社にて、総代理店の生産対応状況を毎月把握。	
【短期】 適切な業務量調整による高負荷の抑制	隊長の業務負担を調整	従来、隊長が作成していた書類を副隊長・検査責任者で作成させることにより隊長の業務負担を軽減させた。	

【実施主体：個社】

佐賀空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用）等）	経験者の再雇用	コロナ禍の影響による業務縮小のにより退職した者に対し、集中的に採用活動を展開した。	退職者2名を再雇用した。（空港保安1級資格者および2級資格者）
	既卒採用の実施	経験者採用の実施。	・ハローワーク、佐賀県、自社HPなどで適宜募集 ・合同企業説明会・個別企業説明会の実施 ・オンライン試験・面接の導入
	ワークプレイス制度の実施	自社グループとしてリテンションを図るべく、働く場所の事情に応じたグループ内転籍制度の運用を実施。	R5.4以降 20名程度応募あり（グループ全体）
【短期】 教育期間の短縮に向けた工夫（実践技術に特化した訓練等）			
【短期】 需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入	派遣会社との派遣契約	受託外航便のハンドリング応需に対応するため、派遣会社との派遣契約を締結。	R5年8月より5名と契約締結
【中期】 長期に誇りを持って勤められるキャリアパスの整備			
【中期】 ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進			
【中期】 特定技能制度の積極的な活用			

【実施主体：空港会社等】

佐賀空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 空港内の労働環境の改善</p>	<p>航空会社バックヤードリニューアル 事務室や更衣室などの老朽化工事</p>	<p>国内線、国際線、航空会社が使用するオフィスの工事に着手。国内線は国内線エリア、国際線は国際線エリアへ集約。併せて老朽化している場所の更新工事を計画中。</p>	
<p>【短期】 空港の知名度を生かした採用活動</p>			
<p>【短期】 マルチタスクを担うことができる空港人材の育成に向けた研修</p>	<p>人材育成制度を構築</p>	<p>全社員を対象に、管理職、係長、主任、新入社員などクラス別研修を実施。</p>	
<p>【短期】 空港WGの活用推進</p>	<p>毎月、意見交換会開催</p>	<p>空港に入居する関係機関による意見交換会を毎月実施している。</p>	
<p>【中期】 GSE車両の共用化・共有化の推進</p>			
<p>【中期】 男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進（「旅客は女性」等のイメージの払拭、更衣室等の施設整備等）</p>			

【実施主体：地方自治体】

佐賀空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 地元グラハン会社・検査会社とのコミュニケーション強化（人員体制等の正確な現状把握等）</p>			
<p>【短期】 空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施</p>			
<p>【短期】 空港業務支援も誘致支援の一部と位置付けた上での関係部局（観光、産業振興 等）と連携した支援の実施</p>	<p>インバウンド誘客推進加速化事業</p>	<p>佐賀空港国際線就航路線に係る現地訪日旅行会社が行う商品造成及び販促経費への補助を実施。</p>	
	<p>インバウンド誘客推進加速化事業</p>	<p>ゲランドハンドリング及び保安検査事業者の人員確保のため、人件費や研修費の補助を実施。</p>	
	<p>給油体制強化事業</p>	<p>航空機への給油作業等を行う人員体制の拡大を行うため、人件費の補助を実施。</p>	<p>航空会社が希望する時間帯に、新規路線就航や増便が行えるような給油体制を構築することができている。</p>
<p>【短期】 空港WGの活用推進</p>			
<p>【中期】 地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の検討</p>			
<p>【中期】 特定技能の在留資格を有する外国人が地域に馴染むための環境整備</p>			

【実施主体：国】

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 各地の空港におけるベストプラクティスの横展開（事例 収集・整理 等）			
【短期】 地域の意欲的な取組への積極的な協力 （空港説明会への参画等）			
【短期】 生産性向上・業務効率化の実現に向けた取組支援（先進 機器の整備補助 等）			
【短期】 各主体による取組の重要性の発信			
【短期】 空港WGの活用推進			
【中期】 空港DXの導入促進に向けた実証実験			
【中期】 更なる支援措置等の検討（人材確保・育成、業務効率 化、GX/DX等）			